



シティプロモーション事業「マーケットの学校」を振り返る
「きたもとで考えたマーケットのある暮らしの可能性」発行



概要

2020年9月から半年間に行われた市民参加型ワークショップ「マーケットの学校」。講義編5回、実習編1回の全6回を通して、参加者のみなさんと北本におけるマーケットの必要性やあり方を考えてきました。
本冊子では、全編を通じた出来事を、講師の鈴木美央さん、コーディネーターの江澤勇介さん、北本市市長公室の3者の対談形式で振り返っています。
また、本事業を通して見えてきた、北本らしいマーケットのあり方や可能性を5つのステイトメントとして掲げています。
市内で開催されるマーケットへの出店者や運営スタッフ、市民のみなさんと「ステイトメント」を共有し、北本らしいマーケット文化の醸成に繋げていきます。

発行部数

5,000部

配布予定

- ・各公共施設
 - ・今年度、市内で開催されるマーケット会場
- ※後日、報道機関の皆様にも冊子を送付いたします。



▲詳細はこちら



担当者から一言

マーケットの学校は、延べ150名を超える(オンライン視聴を含む)方に全国各地から参加していただきながら、北本でのマーケット文化の醸成に向けて、話し合いや実習を重ねました。この冊子を通して、北本が目指すマーケットのあり方や理想の暮らし・まちの姿を多くの方と共有しながら、市のシティプロモーションコンセプトである「&green-緑に囲まれた、ゆったりとした街の中で、あなたらしい暮らしを。」を体現していきます。